

打出のごぶち



打出きよふみ事務所

〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27 近藤ハイツ1階
TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715 Eメール: info@uchidekiyofumi.com

令和6年能登半島地震により犠牲になられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

皆さまの安全と一日も早い復旧・復興に向け、県議会議員の1人として取り組んでまいります。

12月定例会一般質問

東京オリパラ招致に関する知事の発言について

Q1 これまでの答弁により、議会や県民の理解を得られたと感じているのか。また、説明責任を果たしたと考えているのか。

A. 常に知事という立場で説明責任を果たしていく、理解を求めていくという姿勢は当然必要であるという認識は持っている。

Q2 「複数の事実誤認」とは、いくつで、何をどう誤認したのか、正確にはどうであったのか。

A. いくつかの事実誤認や言葉足らずの点もあり、当日のうちに全面撤回させていただいた。全面撤回した発言については、改めて発言することは控えたい。

令和6年度予算編成方針について

Q1 経常的経費の削減策の一つともなり得る、県有施設における駐車場型メガソーラーの導入に係る検討状況を聞く。

A. これまで実際に導入した企業の現地視察を行ったほか、製品メーカーや施工事業者から聞き取りなどを行っているところ。引き続き、技術的な課題に関する情報収集に努めるとともに、ノウハウを持つ民間企業との意見交換を進め、研究を重ねたい。



県議会一般質問で発言する

賃上げ・物価高騰対策について

Q1 賃上げしやすい環境と下請事業者が価格交渉できる環境の整備の継続が必要ではないか。

A. 県補助金において賃上げ実施企業やパートナーシップ構築宣言企業への補助率引上げや加点を行っており、持続的かつ安定的な賃上げや適切な価格転嫁が進むよう、さらなる取り組みを検討してまいりたい。

Q2 「トリガー条項」が発動された場合、本県の税収はどの程度減ると試算しているか。また、国に対し、どのように意見する用意があるのか。

A. 令和5年度の予算ベースで試算すると、軽油引取税と地方揮発油譲与税を合わせて約55億円の減収となる。仮にトリガー条項の凍結が解除される場合には、地方の減収分に対し、しっかりと財政措置がなされるよう、全国知事会を通じて国に要請していく必要があると考えている。

Q3 北陸電力に対し、電気料金の引き下げを検討するようメッセージを発信してほしいと考えるがどうか。

A. 北陸電力においては経営状況や経営の合理化、効率化について県民に対し丁寧に説明を行うとともに、収益状況、財務基盤が改善された際には、料金の引き下げなどにより消費者に還元いただきたいと考えている。

子ども・子育て施策の充実について

Q1 プレミアム・パスポート事業の県関係施設における協賛について、子ども向け施設以外にも対象を拡大してほしいが、検討状況を聞く。

A. 財政的な側面や窓口業務など運営面全般を勘案する必要があることから、対象施設は子ども向けの施設で、家族で利用する頻度の高いものとし、家族と同伴の中学生以下の子どもを無料とすることを基本的な方針としており、今後ともこの方針を基本としつつ、関係部局の意見も聞きながら、本事業を通じて子育て家庭の支援に取り組んでいく。

Q2 いしかわ子ども交流センターへのベビー用紙おむつ自動販売機の設置に係る検討状況について、他の県関係施設における設置検討の有無と併せて聞く。

A. 現在、自販機を提供する事業者と打合せを行い、設置条件などを聞き取っているところであり、引き続き検討を進めるとともに、他の県関係施設については、この検討結果を関係部局と情報共有してまいりたい。

お住まいの地域で
困ったことはありませんか？

[解決事例]

雪道でのスリップ防止のための砂箱を設置

地域の道路で、冬季に凍結してしまい、事故が発生する箇所があります。昨冬も寒波の際、道路凍結によるスリップ事故が発生しており、車両、歩行者ともに危険なため、冬を迎える前に対応する必要性を感じてきました。

近隣2町会の町会長さんのご意見もお伺いし、道路を管理する金沢市役所に声を届けたところ、現場を確認いただき、新たに「砂箱」を設置していただきました。

地域でお困りのこと、
お気軽にご連絡ください！



受付フォームはこちら

まめた簡易グラウンドサッカー場について

Q1 人工芝化に向けて、県サッカー協会・県少年サッカー連盟との協議を進めることが必要と考えるが、所見を聞く。

A. 今後、私自身、県サッカー協会をはじめ関係者の御意見をよくお聞きした上で前向きに検討したい。



海外対策について

Q1 東南アジア諸国における県産品の海外販路開拓支援についての取り組みとマレーシアにおける今後の展開について聞く。

A. 事業者向けの取り組みとして、輸出に関する相談への対応や海外市場セミナーを行うとともに、消費者向けの取り組みとして、アンテナショップや現地小売店、レストランを会場としたテストマーケティングのほか、県産品を活用した食事メニューを提供する石川フェアなどを行っており、今後とも、マレーシアを含め東南アジア諸国を対象にこうした取り組みを展開し、県内事業者の海外展開を後押ししてまいりたい。

県議会一般質問の録画映像を
こちらで視聴することが可能です。 ▶
ぜひご覧ください。

